

再生機械・装置で連携

エムダイヤなど富山で団体設立

【富山】エムダイヤ（富山県滑川市、森弘吉社長）など、リサイ

クル機械・装置の開発や製造、エンジニアリング、販売を行う富山県の3社は「一般社団法人リサイクル機械工業会」を設立した（写真）。まずは3社で営業・販売協力を通じた人的交流と情報共有、相互の会社見学を含む勉強会などを実施する。リサイクル機械・装置に特化した一般社団法人は日本初の試み



という。

参画企業はエムダイヤのほか、佐藤鉄工（同立山町、坂本良文社長）、リョーシン（富山市、高野晃社長）。廃棄物の有効活用や資源循環の仕組み作りがより一層求められる中、3社がそれぞれの強みとノウハウを持ち寄り対応するため設立した。代表理事を務めるエムダイヤの森社長は「環境に関する課題を直接受け止め、即応性のあるソリューションを社会に届けられる協力体制を構築していく」とした。

社団法人の特性を生かした補助金や支援制度への対応、国や県など行政機関との連携も視野に入れる。将来的には共同での展示会出展や企業見学会の受け入れ、採用活動なども検討する。